



ま い は ー と

MYはと



『 赤い羽根 地域福祉の 応援隊 』



福島県共同募金会において『令和5年度赤い羽根共同募金運動スローガン』を募集したところ、湯川中学校3年 鈴木優花さんの作品が優秀賞に選ばれ、福島県共同募金会 小川 武事務局長より賞状とトロフィーが授与されました。おめでとうございます。

令和5年度の赤い羽根共同募金並びに地域歳末たすけあい募金にご賛同頂きました皆様本当にありがとうございました。詳細は次ページ以降に掲載しております。



発行 社会福祉法人湯川村社会福祉協議会 / 〒969-3544 福島県河沼郡湯川村大字清水田字川入 8 でんわ(0241) 27-8890・ファックス(0241) 28-1056
 Eメールアドレス yushakyo@atlas.plala.or.jp
 ホームページ https://www.yugawa-shakyo.or.jp



「湯社協だより まい・はと」の作成経費には、共同募金配分を使用させていただいております。

赤い羽根共同募金

目標額:570,000円

達成額:579,924円

募金内訳

◎戸別募金 856世帯 513,300円

◎職域募金 6件 42,176円

株)不二コントロールズ	15,208円
福島県農業共済組合会津支所	6,144円
その他	1,068円

日東ユメックス(株)	3,241円
湯川村役場職員一同	16,515円



株)不二コントロールズ 様



日東ユメックス(株) 様



福島県農業共済組合会津支所 様



湯川郵便局 様

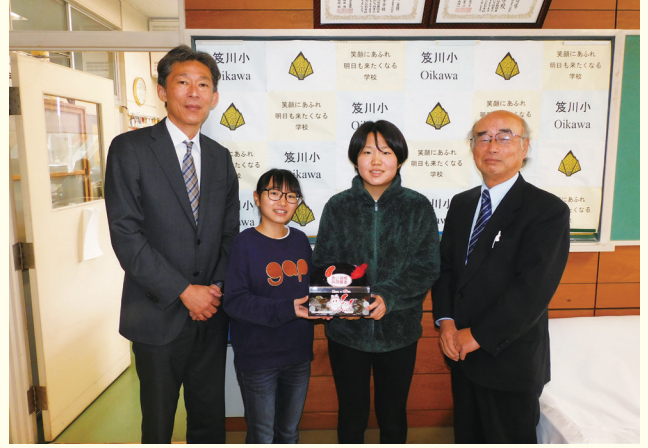
◎学校募金 4件 24,448 円

湯川中学校	5,882 円
勝常小学校	6,540 円

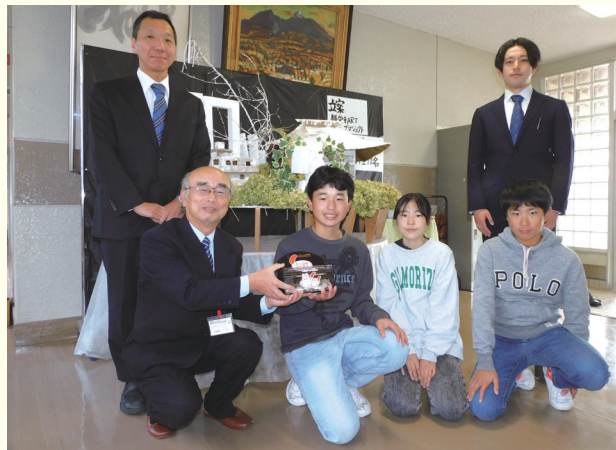
笈川小学校	9,626 円
ゆがわ幼稚園	2,400 円



湯川中学校 様



笈川小学校 様



勝常小学校 様



ゆがわ幼稚園 様

★赤い羽根募金は全額福島県共同募金会に送金しますが、達成額の7割程度が翌年に地域福祉活動費（地区公民館備品配分事業や各種団体への助成、広報作成費等）として配分されます。

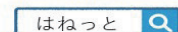
調べてみよう



湯川村で集まった募金は、どのようなことに使われているのかな？
インターネットで調べてみよう！

①赤い羽根データベース「はねと」のページにアクセスする

<https://hanett.akaihane.or.jp>



②「福島」をクリック



③使いみちを見たい市町村名をクリック



④市町村ごとの募金の使いみちを見ることができます



地域歳末たすけあい募金

目標額:720,000円 達成額:680,443円

募金内訳

◎戸別募金 867世帯 **433,500円**

◎個人募金 9件 **83,783円**

鈴木 國雄様 鈴木 悦子様 高畑 弘様
 大八木健一様 遠藤 憲一様 大竹世紀子様
 匿名 (3名)



あいづ塩川湯川ライオンズクラブ様

◎職域募金 7団体 **163,160円**

湯川清掃社	50,000円	味浪漫 粋旬	30,000円
あいづ塩川湯川ライオンズクラブ	20,000円	会津よつば農業協同組合湯川支店	15,500円
会津ヤクルト販売(株)	8,000円	湯川村役場職員一同	32,660円
湯川村民生委員協議会	7,000円		



味浪漫 粋旬様



会津ヤクルト販売(株)様

☆皆様から寄せられた募金は、12月15日に各種見舞金として民生委員さんから次の方々へ配分されました。ありがとうございました。

村内世帯(3世帯)	110,000円	就学援助児童・生徒(11名)	165,000円
通所施設・作業所利用者(18名)	270,000円	身体障害・知的障害者(5名)	75,000円
福島県共同募金会	60,443円		

* 福島県共同募金会に送金した募金につきましては、翌年に共同募金事業費(地区公民館備品配分事業や各種団体への助成・広報作成費等)として配分されます。

◎ 共同募金は毎年皆様から寄せられる、温かい善意です。令和6年度もご理解並びにご協力よろしくお願ひします。

日赤レポート

赤十字奉仕団 1 年を振り返って

令和5年度は、本団にとってあつという間の1年となりました。5月の総会から始まり、毎月までとはいきませんでしたが村幼稚園や村デイサービスセンターにおいての奉仕作業、日本赤十字社福島県支部等の各種研修会への参加、そして団員の大半が参加した団員施設研修会（いわき震災伝承みらい館）と実りある一年となりました。

次年度も赤十字の旗のもと奉仕の心を大切に団員一丸となり、さらに活動の幅を広めて参りたいと思います。



総 会



赤十字ボランティアのつどい



奉仕作業風景

ボランティアセンターより

冬のボランティアスクール開校

今年度は2回目となる、冬のボランティアスクールが村デイサービスセンターと村コミュニティセンターの2施設において12月26日、1日限定で開校しました。

どちらのスクールにも、夏のスクールに参加された小・中学生3名から今回も申し込みがあり、皆さん夏に学んだ知識を活かして利用者の方に接していました。また中には、夏と違うスクール（施設）に申し込む生徒もいて、充実した1日を過ごしておられたようです。

令和5年度ボランティアスクール卒業生

- 大内 洸芽さん（湯川中1年生）
- 川島 茂太郎さん（勝常小5年生）
- 小林 美織さん（勝常小4年生）

ご卒業おめでとうございます。
利用者の皆さんと来年度も待っていますね。



大内さん



川島さん



小林さん

職員紹介



機能訓練指導員 **わたなべ みづほ**
渡辺 美津穂

理学療法士として15年ほど一般病院に勤務し、昨年6月に村社会福祉協議会に入職しました。利用者様やご家族様が安心して日常生活を送りまた役割づくりができるよう、村サービスセンターで機能訓練のご支援をさせていただいております。埼玉県出身で会津坂下町在住。趣味は旅行と麻雀です。

理学療法士とは

人は動かないと筋肉が衰え、体のさまざまな機能が働かなくなってしまう。それらの機能の回復をサポートするのが理学療法士の仕事です。さらに、日常生活や家庭内外の役割に必要な基本動作の改善や維持を図るために動作練習を行います。

〈機能訓練のーコマ〉



筋力トレーニングやバランス運動の他に生活場面を想定した運動を行っています。

編集後記

はじめに、この度の能登半島地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。

私たちは、いつ・どこで・どんな災害に遭遇するかわかりません。「災害は忘れたころにやってくる」という諺もあるように、一人ひとりが防災知識を学び自分の命は自分で守れるよう、常に備えていただきたいと思います。

今回、義援金の記事を掲載しましたが、自分に何ができるのか、わかりません。いまは、被災地の復興を祈るばかりです。

令和6年 能登半島地震義援金のお願い

今年1月1日に発生した、能登半島地震（最大深度7）の義援金募金箱を発災後から村高齢者コミュニティセンターに設置し、多くの方々が来所されて義援金が届けられております。ありがとうございます。

しかし、2ヶ月が経過しようとしておりますが、被災地ではまだまだ先の見えない生活を送られている状況です。被災された方々が一日も早く通常の生活に戻れるよう、皆様のあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

賛同いただいた義援金は日本赤十字社福島県支部を經由して、被災された日本赤十字社各県支部へ全額寄附させていただきます。

能登半島地震義援金額

(2月16日現在)

401,651 円



お詫びと訂正

「湯社協だよりNo.180号 6ページ内のグラウンドゴルフ大会成績に誤りがありました。

誤……第3位 若林 昭

正……第3位 若木 昭

お詫びして訂正いたします。